

スコアシート 実施設計段階					
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分	住居・宿泊部分	全体	
		評価点	重み係数	評価点	
Q 建築物の環境品質					3.4
Q1 室内環境					4.0
1 音環境		1.8	0.15	2.8	1.00
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40
1.1.1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00
1.1.2 設備騒音対策		-	-	-	-
1.2 遮音		1.0	0.40	3.7	0.40
1.2.1 開口部遮音性能		1.0	1.00	3.0	0.30
1.2.2 界壁遮音性能		3.0	-	4.0	0.30
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	4.0	0.20
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	4.0	0.20
1.3 吸音		1.0	0.20	1.0	0.20
2 温熱環境		1.8	0.35	5.0	1.00
2.1 室温制御		2.6	0.50	5.0	1.00
2.1.1 室温設定		3.0	0.63	-	-
2.1.2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-
2.1.3 外皮性能		2.0	0.38	5.0	1.00
2.1.4 ゾーン別制御性		3.0	-	3.0	-
2.1.5 温度・湿度制御		-	-	-	-
2.1.6 個別制御		-	-	-	-
2.1.7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-
2.1.8 監視システム		-	-	-	-
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-
2.3 空調方式		1.0	0.30	-	-
3 光・視環境		3.1	0.25	3.5	1.00
3.1 昼光利用		3.6	0.30	4.0	0.50
3.1.1 昼光率	住戸において、2.0%以上の昼光率を確保	4.0	0.60	5.0	0.50
3.1.2 方位別開口		3.0	-	3.0	0.30
3.1.3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.50
3.2.1 照明器具のグレア		-	-	-	-
3.2.2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00
3.3 照度		3.0	0.15	-	-
3.3.1 照度		3.0	1.00	-	-
3.3.2 照度均斉度		-	-	-	-
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-
4 空気質環境		4.2	0.25	4.2	1.00
4.1 発生源対策		5.0	0.60	5.0	0.63
4.1.1 化学汚染物質	F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用	5.0	1.00	5.0	1.00
4.1.2 アスベスト対策		-	-	-	-
4.1.3 ダニ・カビ等		-	-	-	-
4.1.4 レジオネラ対策		-	-	-	-
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38
4.2.1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33
4.2.2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33
4.2.3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33
4.2.4 給気計画		-	-	-	-
4.3 運用管理		-	-	-	-
4.3.1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-
4.3.2 喫煙の制御		3.0	-	-	-
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-
1 機能性		4.4	0.40	3.4	1.00
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.60	3.0	0.60
1.1.1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-
1.1.2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	1.00
1.1.3 バリアフリー計画	バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たしている	4.0	1.00	3.0	-
1.2 心理性・快適性		5.0	0.40	4.0	0.40
1.2.1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	0.50
1.2.2 リフレッシュスペース		3.0	-	3.0	-
1.2.3 内装計画	評価する取り組みのうち4つに該当する。	5.0	1.00	5.0	0.50
1.3 維持管理		-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計		3.0	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保		3.0	-	-	-
2 耐用性・信頼性		3.0	0.31	-	-
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-
2.1.1 耐震性		3.0	0.80	-	-
2.1.2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33	-	-
2.2.1 躯体材料の耐用年数	品確法におけるコンクリートの評価方法基準で等級3相当	5.0	0.23	-	-
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23	-	-
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.23	-	-

2.3 適切な更新						
2.4 信頼性			3.2	0.19	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-
3	電気設備		3.0	0.20	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-
5	通信・情報設備	評価する取り組みが2つ	4.0	0.20	-	-
3 対応性・更新性			3.0	0.29	2.8	1.00
3.1 空間のゆとり			-	-	2.6	0.50
1	階高のゆとり		3.0	-	3.0	0.60
2	空間の形状・自由さ		3.0	-	2.0	0.40
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		比較的多くの取組みが行われている。	4.0	0.50	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-
1 建物の熱負荷抑制		日本住宅性能表示基準「省エネルギー対策等級」における等級4	5.0	0.40	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50	-	-
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-
3 設備システムの高効率化		設備システムの高効率化を図っている。	4.9	0.40	-	-
4 効率的運用			-	-	-	-
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-
1.1 節水		節水コマなどに加えて、省水型機器などを用いている。	4.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00	-	-
2 雑排水再利用システム導入の有無			3.0	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.63	-	-
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.07	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.05	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		内装材と設備が錯綜せず、解体・改修・更新の際に、容易にそれ	4.0	0.24	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.5	0.22	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用		化学物質排出把握管理促進法の対象物質を含有しない建材が、	4.0	0.32	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68	-	-
1 消火剤		ハロン消火剤を一切使用していない、	4.0	0.33	-	-
2 断熱材			3.0	0.33	-	-
3 冷媒			3.0	0.33	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-
1 地球温暖化への配慮			3.0	0.33	-	-
2 地域環境への配慮			2.4	0.33	-	-
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25	-	-
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-
1 騒音			3.0	1.00	-	-
2 振動			-	-	-	-
3 悪臭			-	-	-	-
3.2 風害、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-
2 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		評価する取り組み表の評価ポイントの合計値が3ポイント	4.0	0.70	-	-
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-